

～今年もよろしくお願ひします～

明けましておめでとうございます。

院内誌「ほっとeye通信」9号をお届けします。

大塚眼科は平成2年に開業し、今年で24年目になります。この間、増改築を3度施工しました。しかし、待合室や検査室は医療機器が増え続け、手狭になり結局平成21年に現在の地に旧医院の3倍の広さ（延床面積640坪）の新医院を建設しました。

待合室は吹き抜けで、トップライト（天窓）からは空が見え、自然光が降り注ぎます（写真1）。中待合室も広々としており、スタッフにとっても患者様にとっても快適な空間が魅力的です（写真2）。

8名で始めたスタッフも、現在36名です。内訳は、医師3名、看護師11名、視能訓練士7名、社会福祉士1名、管理栄養士2名、受付事務6名、検査6名の計36名です。今年は、野田先生が4月から大分大学眼科勤務になります。また新たに視能訓練士が3名、4月から入ってきます。

私自身は、開業当初から白内障手術を中心に行ってきましたが、現在は網膜硝子体、緑内障、眼瞼（まぶた）、涙道などの手術の他、角膜内皮移植術など専門性の高い手術などを全国有数の眼科専門医を招聘して行っています。昨年からは、兵庫医科大学の協力を得て、難易度の高い斜視の手術が行えるようになりました。

これからも最新の医療機器を導入し、地方においても都市部に劣らない最高レベルの医療を実践していきたいと考えております。

今年もよろしくお願ひ致します。



院長 大塚 慎一

院長 大塚慎一 記



（写真1）



（写真2）

眼瞼痙攣（がんけんけいれん）について

眼瞼痙攣は、まぶたの痙攣のことで、自分の意思とは関係なく筋肉に収縮が起こる病気です。『目を開けにくい』『ショボショボする』『閉じていた方が楽』『乾燥する感じで違和感がある』などの症状が、ドライアイや眼精疲労と似ているために正しく診断されないこともあります。

常にまぶたを強く閉じるため、^{みけん}眉間の深い^{たてじわ}縦皺と鼻根部の深い^{よこじわ}横皺が特徴的な表情（図1）を示します。日本でこの病気に悩んでいる人は30万人以上いると推定され、このうち40代以降の女性が最も多く、ついで中高年の男性となっています。

眼瞼痙攣は原因別に3つに分類され、誘因のはっきりしない①本態性眼瞼痙攣と、パーキンソン病や脳梗塞などが原因の②症候性眼瞼痙攣と、抗うつ薬や抗不安薬といった向精神薬の長期服用で発症する③薬剤性眼瞼痙攣（遅発性ジスキネジアの一型）があります。

治療は正しい診断を行い、原疾患の治療と併せてボトックス治療が有効です。薬剤性眼瞼痙攣については、向精神薬の中止や変更で症状が軽快・改善することがあります。

●眼瞼痙攣の分類

- ①本態性眼瞼痙攣 原因となる疾患がないものでボトックス治療の適応になります。
- ②症候性眼瞼痙攣 パーキンソン病や脳梗塞などが原因でおこるもので、ボトックス治療の適応になります。
- ③薬剤性眼瞼痙攣 向精神薬の長期服用によりおこるもので、薬剤の中止や変更で症状が軽快・改善しない場合にはボトックス治療の適応になります。

●眼瞼痙攣の治療

現在、主流となっているのはボトックス治療です。この治療は、ボツリヌス毒素を局所に注入することにより痙攣をとめる治療法です。ボツリヌス毒素は注射した場所の運動神経と筋肉の間に作用し、筋肉の動きを一定期間とめます。約8割の方に治療効果がみられ効果は1～3日以内にあらわれ、3～4ヶ月持続します。

眼瞼痙攣は完治できませんが、ボトックス治療を定期的に行い、病気と上手につきあっていくことが大切です。

眼瞼痙攣の治療として1回に使用されるのは比較的少量なので体への負担もなく、治療時間も短いため、日常生活に組み込みやすい治療法であり保険も適用されます。

●その他、まぶたが痙攣する疾患として、片側顔面痙攣と眼瞼ミオキミアがある

片側顔面痙攣は顔の右半分または左半分の筋肉が勝手に痙攣する病気です。痙攣はまぶたから始まり徐々に口の周囲へと広がり、進行すると図2のように顔の半分が不随意にひきつります。中高年女性に多い病気で、原因は顔面神経が動脈によって圧迫されるために起こります。根本治療は脳外科的な手術を受けることですが、高齢者ではリスクがあるため、安全なボトックス治療が第一選択となります。

眼瞼ミオキミアは、まぶたの一部（特に下まぶた）がピクピク痙攣する状態で、数分間で治り何度か繰り返して数週間で自然に治ります。原因は睡眠不足など疲労によるものと言われています。

図1 眼瞼痙攣の表情



- まばたきが多い
- まぶたを閉じることが多い
- 眉間に深い^{たてじわ}縦皺がある
- 額と鼻の付け根に深い^{よこじわ}横皺がある

図2 片側顔面痙攣の表情



- 顔半分がひきつっている
- 本人の意思とは無関係にウインクしたような表情が発作的に表れる

●おわりに

「眼が疲れるとまぶたがピクピクする」「最近まばたきの回数が増えた」「テレビやパソコンがまぶしくて見づらい」「ドライアイの治療をしているのに、症状が改善しない」そんな状態が続いている場合は、眼科での詳細な検査をお勧めします。

文責 視能訓練士 後藤

●木村先生講演会



平成25年10月5日(土)
兵庫医科大学眼科 准教授 木村先生をお招きし、ご専門である神経眼科について診察をしていただきました。優しく親身になって診察をしてくださり、とても的確で分かりやすい説明に患者さまも安心されている様子でした。
午後からは斜視、眼瞼痙攣、甲状腺眼症（バセドウ病など）についてご講演いただき、症例検討会を行いました。

●平成25年 当院の学会参加一覧〈10月～12月〉●

10/12	コソプトシンポジウム（大分）	2名
10/23	千駄木マキュラーセミナー（東京）	1名
10/31～11/3	日本臨床眼科学会（横浜）	3名

11/9	大分Anti-VEGF研究会（大分）	2名
11/16	日本視能矯正学会（福岡）	5名
12/1	大分眼科集談会（大分）	2名

各専門医日程

当院では全国より各分野の専門の先生を招いて診察や手術を行っています。専門医診察・手術は早い時期で予約が埋まってきますので、診察や手術をご希望の方は、スタッフまでご連絡ください。

1月	2月	3月	4月
24日(金)	6日(木)	1日(土)	11日(金)
緑内障専門外来	白内障手術	硝子体手術	硝子体手術
琉球大学 教授 澤口先生	(東京) 井上眼科医院 副院長 徳田先生	東京女子医科大学 教授 飯田先生	(福岡) 林眼科病院 副院長 吉村先生
25日(土)	15日(土)	8日(土)	12日(土)
硝子体手術	硝子体手術	眼瞼手術	硝子体手術
東京女子医科大学 教授 飯田先生	大阪労災病院 副院長 恵美先生	京都府立医科大学 渡辺先生	大阪労災病院 副院長 恵美先生
25日(土)	18日(火)	14日(金)	19日(土)
眼瞼手術	眼瞼手術	硝子体手術	眼瞼手術
京都府立医科大学 渡辺先生	(横浜) 岡田眼科 副院長 宮田先生	名古屋市立大学 教授 小椋先生	京都府立医科大学 渡辺先生



専門医紹介 9



琉球大学 教授
澤口 先生

澤口先生は沖縄にある琉球大学眼科の主任教授です。日本緑内障学会の理事もなさっておられ、緑内障治療の日本を代表する専門家として有名です。大変お忙しい中、当院へも数ヶ月に一度のペースで来ていただき、緑内障の患者さまの診察や治療方針の決定をしていただいております。澤口先生の診察をご希望の患者さまは当院スタッフ・医師にご相談下さい。

スタッフ紹介

外 来

診察に来院された患者さまの問診・検査などを主に担当しているスタッフです。初めてでも、患者さまが緊張せず話しやすい雰囲気を心がけています。

受診目的を医師にしっかりと伝える役目としてお話を伺っています。しつこくお聞きするかと思いますがお付き合い下さい。また些細な事でも遠慮なくご質問下さい。

「大塚眼科にきて良かった」と思って帰っていただけるのが理想です。



(後列) 吉良 和田 福田
(前列) 岡 後藤 原田

診療時間の案内

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ～ 12:30	大塚 野田	大塚 野田	大塚 野田	大塚 中野	大塚 野田	大塚 野田
午後 14:00 ～ 18:00	中野	中野	中野	午後 休診	野田	午後 休診
手術日 (午後)	白内障	白内障	白内障	—	翼状片 眼瞼下垂 内反症	—



※専門医による硝子体手術・緑内障手術・眼瞼手術・涙道手術は随時行っています。

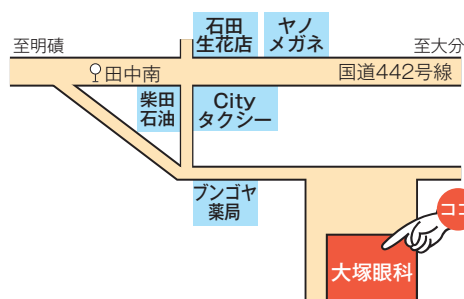
※受付時間は午前7:30～午後5:00までです。

※コンタクトレンズの作製は、予約制となっております。事前に電話にて御予約をお願い致します。

ホームページ紹介



大塚眼科のホームページには院長の挨拶をはじめ、診療時間の案内・手術案内や、交通アクセスなどが掲載されています。



広報部編集委員

野田
(副院長)
井上
氏川
野崎
小野
本幡

大分市 大塚眼科

検索

インターネットにて検索してみてください

ケータイはこちら

大塚眼科モバイルサイト

